

美術研究科グローバルアートプラクティス専攻 講師又は准教授 の公募について

1. 募集人員 東京藝術大学芸術研究院純粋美術表現領域 講師又は准教授 1名
2. 所属・専門等 大学院美術研究科グローバルアートプラクティス専攻
※本専攻の詳細については本学HPをご参照ください。
http://www.geidai.ac.jp/department/ga_fine_art/gap
<http://gap.geidai.ac.jp/>
3. 担当授業等 大学院において、グローバルな文脈で、芸術の現代社会における実践に関する指導及び論文指導を行う。
海外協定校との共同授業の計画運営および共通工房を含む実技指導等に携わる。
上記の他、学生生活指導、入試及びその他の大学運営業務に携わる。
4. 採用予定時期 令和3年4月1日
5. 任期 採用にあたっては、定年（満67歳）を上限として、講師は5年、准教授は10年の任期制（更新可）が適用される。
※更新については任期末1年半前までに更新希望の有無を確認の上、再任評価を行い、任期末の1年前までに更新の可否を決定します。
6. 給与 本学規定による
7. 就業時間 専門業務型裁量労働制（1日7時間45分働いたものとみなす）
8. 休日 本学規定による
9. 社会保険等 文部科学省共済組合
10. 応募資格 下記の各項を満たす者
(1) 芸術諸領域の枠を超えた新しい芸術文化の創造或いはその普及に関する高い専門性と優れた業績を有し、豊かな知識、教育・研究能力を有する者。
(2) 国際的な芸術活動・教育の展開ができる者、そのために必要な英語力を持つ者
(3) 大学院修士課程・博士後期課程学生の教育研究指導にあたることができること
(4) 博士の学位を有する者、もしくは同等の実績を有すること
(5) 採用後、通勤可能な範囲に居住できること（上野校地、取手校地）
(6) 国籍は問わない、ただし、上記の教育に支障のない日本語能力を有すること
11. 選考方法
(1) 第一次選考：書類審査 令和2年9月上旬 結果は書面にて通知する。
(2) 第二次選考：面接審査 令和2年10月1日（木） 詳細は第一次選考合格者に通知する。
(なお、面接に要する旅費等は自己負担とする。)
(3) 候補者内定：令和2年11月中旬頃
12. 提出書類
(1) 履歴書（写真貼付。生年月日、連絡がつく電話番号・メールアドレス等を明記のこと）
(2) 業績リスト（作品の発表、研究、教育、社会活動の実績の一覧）
(3) 業績資料（ポートフォリオ、図録、画集、主要論文等）
(4) 教育指導に関する抱負と計画（1000字程度、書式自由）
(5) 着任後の研究計画（1000字程度、書式自由）

※提出書類はいずれもA4判用紙、日本語（(2)(3)の業績名・資料が外国語の場合はその限りでない。）で作成すること

※提出書類は全体で4kg以内とする。

※提出書類は採用事務にのみ使用し、その他の目的に使用することはありません。
また、(3)を除く提出書類は返却しません。

※上記(3)作品資料の返却を希望する場合には、必要な額の切手を貼付して返送先を明記した返却用封筒又は返送先を記入した宅配便の「着払い」伝票を、上記(1)～(5)と共に提出して下さい。

13. 書類提出先

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

東京藝術大学美術学部庶務係 宛

※提出書類は、書留郵便、ゆうパック又は宅配便による配達記録が残る方法で送付し、封筒又は箱の表面に「GAP(A) 教員応募書類在中」と朱書きすること。

14. 書類提出期限

令和2年8月28日(金)17時までに必着(厳守)のこと。

書留郵便、ゆうパック又は宅配便による配達記録が残る送付物以外は受理しない。

15. その他

本学では平成28年6月に公表した「大学改革・機能強化推進戦略2016」に基づき、ダイバーシティな大学環境実現のため、女性や外国人等の教員・研究者への支援を推進しています。

(東京藝術大学ダイバーシティ推進室HP <http://diversity.geidai.ac.jp/>)

【本件に関する問合せ先】

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学美術学部庶務係 (担当：本橋)

(問合せは、必ず文書によること。)

E-mail: bijutsu-shomu@ml.geidai.ac.jp FAX: 03-5685-7765